

別冊

令和7年12月市議会定例会の
一般質問における答弁要旨
(令和8年1月定例教育委員会会議資料)

木更津市教育委員会

質問要旨（抜粋）

堀切 俊一 議員

- 3 木更津駅西口の活用について
 - (1) 都市宣言が書かれた看板について
 - ①表示が古くなったので書き直すか、これを機に「ようこそ木更津市へ」等の表示も書き加えられないか
- 3 公共施設再配置計画について
 - (2) 小学校・中学校について
 - ①学級数の予測について
 - ②小規模特認校について

田中 紀子 議員

- 1 誰も置き去りにされない社会を目指して
 - (1) 木更津市の教育の視点から
 - ①考える力 主体性を伸ばす教育を
 - ②ハンディを抱えた子どもへの対応
 - ③2学期制と3学期制の取組状況は

安藤 順子 議員

- 2 木更津市の生涯学習支援について
 - (1) 公民館での生涯学習事業について
 - ①現状
 - ②課題
 - ③地域交流センターに移行してからの支援体制
 - (2) 生涯学習バスについて
 - ①今年度の現状
 - ②課題
 - ③今後の運用について

(3) 生涯学習の今後の展望

- ①民間との連携について
- ②市の取組について

竹内 伸江 議員

- 1 多文化共生と国際交流の推進による平和への取組について
 - (4) グローバルな人材育成を目指した学校教育での取組について地域交流活動について
 - ①国際交流の機会確保について
 - ②A L Tの活動推進について

松井 晃治 議員

- 1 人生100年時代における生きがい・働きがいの創出について
 - (2) 生涯学習を通じた高齢者の活躍促進について
 - ①学び直しと地域参画の接続について
 - ②地域の語り部・案内人としての高齢者の活躍について
 - ③スポーツや昔遊びを通じた多世代交流について

大野 俊幸 議員

- 1 児童生徒の健全育成について
 - (1) P T Aによる教育活動支援の在り方について
 - ①P T A組織について
 - ②P T A会費について
 - ③P T A予算の用途について

質問要旨（抜粋）

大野 俊幸 議員

- ④学校設置者による経費負担について
- ⑤PTAの継続的な運営について
- (2) 中学校スポーツの現状と課題について
 - ①部活動の地域展開の経緯と方針について
 - ②本市における公立中学校の部活動の現状について
 - ③中学校体育連盟の方向性について
 - ④本市の方向性について

重城 正義 議員

- 2 火災被災者への支援について
- (3) 各部における支援について
 - ①教育部の支援について

神蔵 五月 議員

- 2 子どもの読書環境向上の取組について
- (1) 図書館の取組について
 - ①ブックスタート事業の状況について
 - ②ブックスタート後のフォローについて
- (2) 学校との連携について
 - ①連携の状況について
 - ②アクセシブルな図書の提供について
 - ③電子図書の利用状況について
 - ④学校での電子図書の活用について

令和7年12月市議会定例会 答弁要旨一覧表

教 育 部

質問順	質問者	大綱	中項目	小項目	質問の要旨	答弁の要旨	答弁者
1	堀切俊一議員	3	1	1	「表示が古くなったので書き直すか、これを機に『ようこそ木更津市へ』等の表示も書き加えられないか。」 ・生涯学習都市宣言が書かれた木更津駅西口の三角看板の今後を伺う。	平成5年に設置したものであることから、表示内容も踏まえ、関係各課と調整し、今後のあり方を検討する旨答弁。	教育部長
4	田中紀子議員	1	1	1	「考える力 主体性を伸ばす教育を」 ・木更津「教育の日」研修会を行った経緯や取組状況について伺う。	考える力と主体性を伸ばし、自立する力と共生する姿勢を身に付けさせる本市の教育目標を市内全教職員で共有することを目的に、本年度から木更津「教育の日」研修会を設置した。 本市の教育目標との親和性から、工藤勇一氏に講師を依頼し、6月と8月に研修を実施した。 12月には管理職向け研修を予定している旨答弁。	教育長
4	田中紀子議員	1	1	2	「ハンディを抱えた子どもへの対応」 ・エレベーターを設置している小中学校はどこか。また、エレベーターを設置することになった経緯を伺う。	エレベーターを設置している学校は、小学校は、木更津第一小学校、南清小学校、真舟小学校の3校、中学校は、木更津第三中学校の1校、計4校である。 校舎の新設、改築の際に設置について検討し、順次整備してきた旨答弁。	教育長
4	田中紀子議員	1	1	3	「2学期制と3学期制の取組状況は」 ・取組状況と学校での成果と課題について伺う。	小学校18校のうち、12校が2学期制で、中学校はすべて3学期制である。 2学期制の成果は、長期休業前の多忙な時期にも授業時数を確保できるため、各学校の特色を生かした柔軟な教育課程の編成ができること、成績処理時間が削減されることで教員の働き方改革につながり、子どもと向き合う時間の確保に貢献しているものとする。 一方で、評価の回数が減少するため、子どもの学習達成度を定期的に確認する必要性が生じることや気持ちの切り替えがしにくいこと等が課題である旨答弁。 【資料提示】	教育長

令和7年12月市議会定例会 答弁要旨一覧表

教 育 部

質問順	質問者	大綱	中項目	小項目	質問の要旨	答弁の要旨	答弁者
5	安藤順子議員	2	1	1	「現状」 ・公民館での生涯学習活動の現状について、主な講座の内容や対象、参加者の傾向について伺う。	市内15館において、青少年を対象としたサタデースクール事業、高齢者教室のほか、乳幼児から高齢者まで様々な方を対象とした各種事業を実施している旨答弁。	教育部長
5	安藤順子議員	2	1	2	「課題」 ・利用者の高齢化は認識されているのか、また多様化する市民の学習ニーズはどのように反映されているのか伺う。	利用者の高齢化は認識しており、テーマや開催時期を工夫した事業等の実施により、新たな公民館利用者の拡大を図っている旨答弁。	教育部長
5	安藤順子議員	2	1	3	「地域交流センターに移行してからの支援体制」 ・生涯学習事業に関する支援体制はどのようになるのか伺う。	地域交流センター職員に対する研修を実施するとともに、生涯学習事業の状況を常に把握し、適切に指導・助言を実施する旨答弁。	教育部長
5	安藤順子議員	2	2	1	「今年度の現状」 ・生涯学習バスの運行状況、利用件数、利用目的の傾向について伺う。	「動く教室」として市民の生涯学習活動を支援する目的で運行しているものであり、今年度は、公民館主催事業を主に29団体、99日の運行を予定している旨答弁。	教育部長
5	安藤順子議員	2	2	2	「課題」 ・今年度の運用方法の現状を踏まえ、課題をどのように捉えているのか伺う。	業務委託内容を今年度見直したため、運行時間や運行距離には制約があることは認識しているが、事前に詳細な打ち合わせを実施し、円滑に運行することができている旨答弁。	教育部長
5	安藤順子議員	2	2	3	「今後の運用について」 ・活用しやすい運用に向けて、改善に向けた考えを伺う。	より多くの団体が利用できるよう事前予約のあり方を再検討し、有効活用していく旨答弁。	教育部長

令和7年12月市議会定例会 答弁要旨一覧表

教 育 部

質問順	質問者	大綱	中項目	小項目	質問の要旨	答弁の要旨	答弁者
5	安藤順子議員	2	3	1	「民間との連携について」 ・民間や地域との連携をどのように進めていくのか伺う。	「きさらづ市民カレッジ」や各公民館主催事業において、大学などの教育機関や民間企業、また地域市民団体等と連携し、生涯学習事業を実施しており、今後さらに多様な取組を進めていく旨答弁。	教育部長
5	安藤順子議員	2	3	2	「市の取組について」 ・学びを地域貢献につなげる循環型支援へ発展させるためどのような施策を検討しているのか伺う。	個人の成長と社会の発展のために生涯にわたって学び続けることができる環境を整備し、更なる学びや地域貢献につなげる機会の創出を推進していく旨答弁。	教育部長
6	竹内伸江議員	1	4	1	「国際交流の機会確保について」 ・各学校において国際交流をさらに推進するための取組について伺う。	本年度新たに、市内小中学校30校と市内高等学校6校及び工業高等専門学校1校と連携した国際交流教育ネットワークを構築し、教育委員会が窓口となり、積極的に海外の学校と交流できるよう努めている。 また、「らづ-T（出前授業一覧）」に国際交流や異文化に関連する講師を掲載し、その周知・活用を推進することで、グローバルな視点を持った児童生徒の育成に引き続き取り組んでいく旨答弁。 ※今年度の交流実績 5月15日 高柳小 マレーシア・アラミン校 6月4日 木一小 バトナム・ダナン越日学校 6月4日～5日 木総合 バトナム・ダナン越日学校 6月5日 木高専 バトナム・ダナン越日学校 6月27日 高柳小 中国・汪曾祺（オウソウキ）学校 9月22日 木東高 インド・N.Hゴエル ワールド スクール 10月14日 金田中 インドネシア・ラブ スクールジャバル中学校 12月19日 清川中 インドネシア・ラブ スクールジャカルタ中学校	教育長

令和7年12月市議会定例会 答弁要旨一覧表

教 育 部

質問順	質問者	大綱	中項目	小項目	質問の要旨	答弁の要旨	答弁者
6	竹内伸江議員	1	4	2	「ALTの活動推進について」 ・ALTの効果的な活動について伺う。	通常の授業に加え、出前授業、イングリッシュツアー、きさらづ特認校の小学校でワールドフェスティバルを実施し、国際理解教育を推進している。 また、中学校の英語コンテストに向けての指導などを行い、成果を収めている旨答弁。	教育長
7	松井晃治議員	1	2	1	「学び直しと地域参画の接続について」 ・高齢者の学びを、社会参画・地域貢献にどのようにつなげているのか、また、学びの成果を地域で活かすための「導線づくり」についての見解を伺う。	生涯学習事業への参加を呼びかけ、学んだ内容を地域に発信する機会を設けるとともに、さらに学習を深めることへの支援を行なっている。 学びの成果を地域貢献につなげることは大変重要であるので、今後も生涯学習事業の参加者へ働きかけを続けていく旨答弁。	教育部長
7	松井晃治議員	1	2	2	「地域の語り部・案内人としての高齢者の活躍について」 ・高齢者の語り部・案内人としての活動と子どもたちの学習とを結びつける取組の現状と、高齢者の活躍の場として、このような活動の可能性や方向性をどのように見ているのか伺う。	公民館主催事業「戦争体験を次世代に伝える講座」や、旧安西家住宅ガイドボランティア活動、きさらづ道案内人などの取組がある。 今後も高齢者があらゆる世代と交流し、多様な技術・経験を伝えることで、各々の生きがいを共に創り、共に高めあう社会の実現を目指す旨答弁。	教育部長
7	松井晃治議員	1	2	3	「スポーツや昔遊びを通じた多世代交流について」 ・高齢者の多世代交流の現状と、今後教育委員会として期待している世代間交流の場づくりの広がりに対する見解を伺う。	放課後子ども教室の昔遊び体験や、住民会議主催のボッチャ対戦交流会などの取組がある。 子どもたちがあらゆる世代と関わる経験は重要であり、今後も意図的に機会の創出に努めていきたい旨答弁。	教育部長
8	大野俊幸議員	1	1	1	「PTA組織について」 ・PTAの組織、会員、活動の目的について伺う。	PTAは、保護者と教職員によって組織される団体であり、保護者と教職員が協力し、子どもたちのために何ができるかを共に考え、活動を展開している旨答弁。	教育長

令和7年12月市議会定例会 答弁要旨一覧表

教 育 部

質問順	質問者	大綱	中項目	小項目	質問の要旨	答弁の要旨	答弁者
8	大野俊幸議員	1	1	2	「PTA会費について」 ・PTA会費の金額、また、学校によって金額に差が生じているのかについて伺う。	PTA会費は、各団体の規約等により、市内小学校の平均は月額約316円、中学校の平均は月額約349円となっている。 学校規模や活動内容等により差はあり、小学校では月150円～400円、中学校では月300円～500円と承知している旨答弁。	教育長
8	大野俊幸議員	1	1	3	「PTA予算の用途について」 ・PTAからの寄附によって公費を補完しているとの報道もあるようだが、本市においてはどのような用途に使われているのか伺う。	PTAの運営費のほかに、活動費や教育振興費、学校援助費等に使用されており、各PTA総会等における承認を経て、予算が執行されていると認識している旨答弁。 【資料提示】	教育長
8	大野俊幸議員	1	1	4	「学校設置者による経費負担について」 ・学校教育法において「設置者はその学校の経費を負担する」旨の規定があるため、備品等については、市が負担すべきではないかと思うが、PTA予算で備品等を購入することもあるのか伺う。	学校の備品等の予算については、市で予算措置している。より良い教育環境のために、PTA内での合意形成ができていないものに対してPTA予算が使われていると認識している旨答弁。	教育長
8	大野俊幸議員	1	1	5	「PTAの継続的な運営について」 ・PTAの役員は、負担の大きさから担い手不足が深刻であると聞いているが、活動を持続可能なものとするためにはどのような取り組みが必要と考えているのか伺う。	役員の負担が大きいという意見は承知しているが、一方で、経験者からは「つながりができた」、「子どもたちの成長に関わることができてよかった」という声もあるため、過度な負担がかからないよう留意し、誰もが参加できるよう配慮することが重要である旨答弁。	教育長

令和7年12月市議会定例会 答弁要旨一覧表

教 育 部

質問順	質問者	大綱	中項目	小項目	質問の要旨	答弁の要旨	答弁者
8	大野俊幸議員	1	2	1	「部活動の地域展開の経緯と方針について」 ・部活動地域展開への経緯と国や県の方針について伺う。	教職員の働き方改革の観点や、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」という目的のもと、持続可能で多様な環境を一体的に整備することが国から示されている。 令和7年度末までに、全部活動地域移行完了の推進計画を作成することが求められていたが、休日については、令和13年度末までに、原則、全ての学校部活動において、地域展開の実現を目指すものとされた旨答弁。	教育長
8	大野俊幸議員	1	2	2	「本市における公立中学校の部活動の現状について」 ・部活動の現状、指導者の専門性や地域展開への教職員の意識等について伺う。	市全体で運動部が10種目、文化部が6種類となっており、生徒数の減少や加入率が低い部活動がある場合は、段階的な削減や合同チームによる大会参加など、各学校の実態に応じて、工夫しながら取り組んでいる。 指導者の専門性については、令和6年度に実施したアンケート調査によると半数以上は専門性がない中で指導にあっている現状であり、地域展開された場合に休日の部活動指導者を希望しないとの回答は88%に達したことから、教員の部活動に対する負担感は大いものと捉えている旨答弁。	教育長
8	大野俊幸議員	1	2	3	「中学校体育連盟の方向性について」 ・全国中学校体育大会の今後の方向性及び令和9年度以降の廃止競技種目について伺う。	日本中学校体育連盟によると、少子化の進行が深刻なことなどから、部活動設置率の低い水泳競技・ハンドボール・体操競技・新体操・ソフトボール男子・相撲・スキー・スケート・アイスホッケーの9種目が廃止される予定とのことであるが、本市中学校で常時展開している部活動で該当するものはない旨答弁。	教育長

令和7年12月市議会定例会 答弁要旨一覧表

教 育 部

質問順	質問者	大綱	中項目	小項目	質問の要旨	答弁の要旨	答弁者
8	大野俊幸議員	1	2	4	「本市の方向性について」 ・部活動地域展開の本市の取組状況と今後の方向性について伺う。	本市では、令和4年度から5年度にかけて、庁内部活動地域移行検討会議を開催し、今後のスケジュールや推進方法について協議した上で、令和6年度に部活動地域移行協議会を設置した。有識者や関係団体、保護者代表等を交え、様々な視点から意見をいただき、子どもたちのために有効な体制づくりについて協議した。 今年度は運動部活動の試験運用、来年度はこれに加えて、文化部活動での試験運用を予定しており、持続可能な仕組みの構築に向けて、引き続き調査研究していく旨答弁。	教育長
11	重城正義議員	2	3	1	「教育部の支援について」 ・火災の被害にあった家庭に対する教育部の支援について伺う。	経済的な理由によって就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対しては就学に必要な援助を行っているが、所得状況によって認定することから火災による認定は難しく、教科書についても火災等により使用不能になった場合は無償給与の対象とならないため、経済的な支援は難しい状況である。 また、学校給食費については、生活保護、就学援助及び就学奨励費制度により補助が行われており、学校給食費に関する直接の支援制度はない。 なお、被災した児童の心のケアとしては、県教育委員会にスーパーバイザーの派遣を申請し、学校が当該児童への対応について指導助言を受けるほか、必要に応じて児童生徒と保護者にスクールカウンセラーや心の相談員との面接を勧めている旨答弁。	教育部長
12	神蔵五月議員	2	1	1	「ブックスタート事業の状況について」 ・対象者と配付の割合やもらった方の反応などを伺う。	ブックスタートは、木更津市在住の全ての乳児とその保護者を対象に、絵本を開く体験と絵本等をプレゼントするもので、配付率はほぼ100%であり、保護者には好評である旨答弁。	教育長

令和7年12月市議会定例会 答弁要旨一覧表

教 育 部

質問順	質問者	大綱	中項目	小項目	質問の要旨	答弁の要旨	答弁者
12	神蔵五月議員	2	1	2	「ブックスタート後のフォローについて」 ・乳幼児を対象とした読み聞かせ講座などの状況について伺う。	図書館で「赤ちゃんといっしょのおはなし会」等を開催しており、ブックスタート時に案内している旨答弁。	教育長
12	神蔵五月議員	2	2	1	「連携の状況について」 ・図書館と小中学校との連携の内容について伺う。	学校に対し、図書の貸出、おはなし会への司書の派遣、ボランティアによる教科書の点訳協力など、幅広く連携を行っている旨答弁。	教育長
12	神蔵五月議員	2	2	2	「アクセシブルな図書の提供について」 ・アクセシブルな図書についてどのようなものを提供しているか伺う。	読み上げ機能や拡大機能のある電子図書の提供、読み上げている文字の色が変わる機能を備えたマルチメディアダイジェスト図書など、視覚から楽しめるデジタル図書を提供している旨答弁。	教育長
12	神蔵五月議員	2	2	3	「電子図書の利用状況について」 ・電子図書などデジタル図書の学校での利用状況について伺う。	現在、市内の小中学校の児童生徒等3,808名へ電子図書を利用するためのIDを発行しており、令和6年度実績で年間9,146件の利用があった旨答弁。	教育長
12	神蔵五月議員	2	2	4	「学校での電子図書の活用について」 ・図書館の電子図書の活用について学校の取組を伺う。	子どもたちは、朝の読書タイムや休み時間及び総合的な学習の時間等において、タブレット端末を用いて電子図書を活用している旨答弁。	教育長